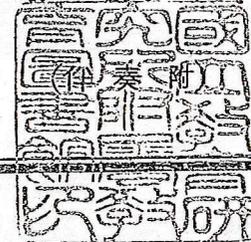


唱歌教科書



羈 旅 (旅の歌)

Belebt (快活ニ)

(Abt)

Musical score for the first system on page 3, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the second system on page 3, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the third system on page 3, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the fourth system on page 3, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the first system on page 4, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the second system on page 4, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the third system on page 4, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the fourth system on page 4, featuring a vocal line and piano accompaniment.

歌 詞

○春の曙 犬童球溪

一、花より明けゆく春の曙
峯より別るる空の横雲
霞に包める山もと

朝げの烟か遠くなびく

時を離れてなき行く鴉カラス

何處をさしてか三つ四つ二つ。

二、月より白むか春の曙

山の端ほの／＼松も見えつつ

霞に包める里村

今しも夢よりめざめぬらし

みそらを仰げばかりがね高く

家路をさしてか鳴き連れ歸る。

○春の姿秋の姿 八波則吉

一、川沿町、蛇の目のからかさ

雨に煙る柳並木。

二、ほのかに見ゆ擬寶珠ニセタマシユのそり橋

繪にも似たり春の朝。

三、月澄む庭虫の音しきるよ

チリ、リ、リ、リ、リ、リ、チリ、

四、更け行く空物の音さゆるよ

ラ、リ、ラ、リ、ラ、ラ、ラ、

○羈旅 犬童球溪

一、夜なき國か玉の高樓

寄せ來る浪か人の往來

これぞ御國の誇と名だたる花の帝都

今日しも踏み見ていとも樂し

馴れたる故郷を遠く離れ

淋しき心胸に湧けど、

二、掛けし繪巻か山の姿

延えし生絹か川の流れ

これぞみ國の誇と名を得し清き風景

今日しも踏み見ていともうれし

馴れたる故里を遠く離れ

淋しき心胸に湧けど。

○籬の薔薇 八波則吉

一、朝日をうけて高く薫り

入目を溶びて真紅に燃ゆる

籬の薔薇 何に譬へん

汝が色香。

二、色香を求めて許多集ひ

ひらひら遊ぶ胡蝶と共に

籬の薔薇 吾も得去らず

汝が邊。

○美はしの四季 犬童球溪

一、山邊も野邊もかすみわたり

春風軽く袖にかざる

仰ぐそらには雲雀うたひ

笑める花には胡蝶をどる

昭和三年四月十日印刷
昭和三年四月十三日發行

定價金壹圓參拾錢

不許
複製

編纂者

若狹萬次郎

發行兼
印刷者

東京市小石川區八千代町四十二番地
若狹萬次郎

東京市小石川區八千代町四十二番地

發行所

交響社出版部